



第18回JAB/ISO 9001公開討論会
2012年3月13日

WG2 社会の視点から

～安全・安心で豊かな社会の実現～

メンバー:(五十音順、敬称略)

五十嵐 誠 (組織)

勝俣 宏行 (認証機関)

住本 守 (専門家)

中川 梓 (JAB)

平林 良人 (専門家)

山本 正 (産業界)

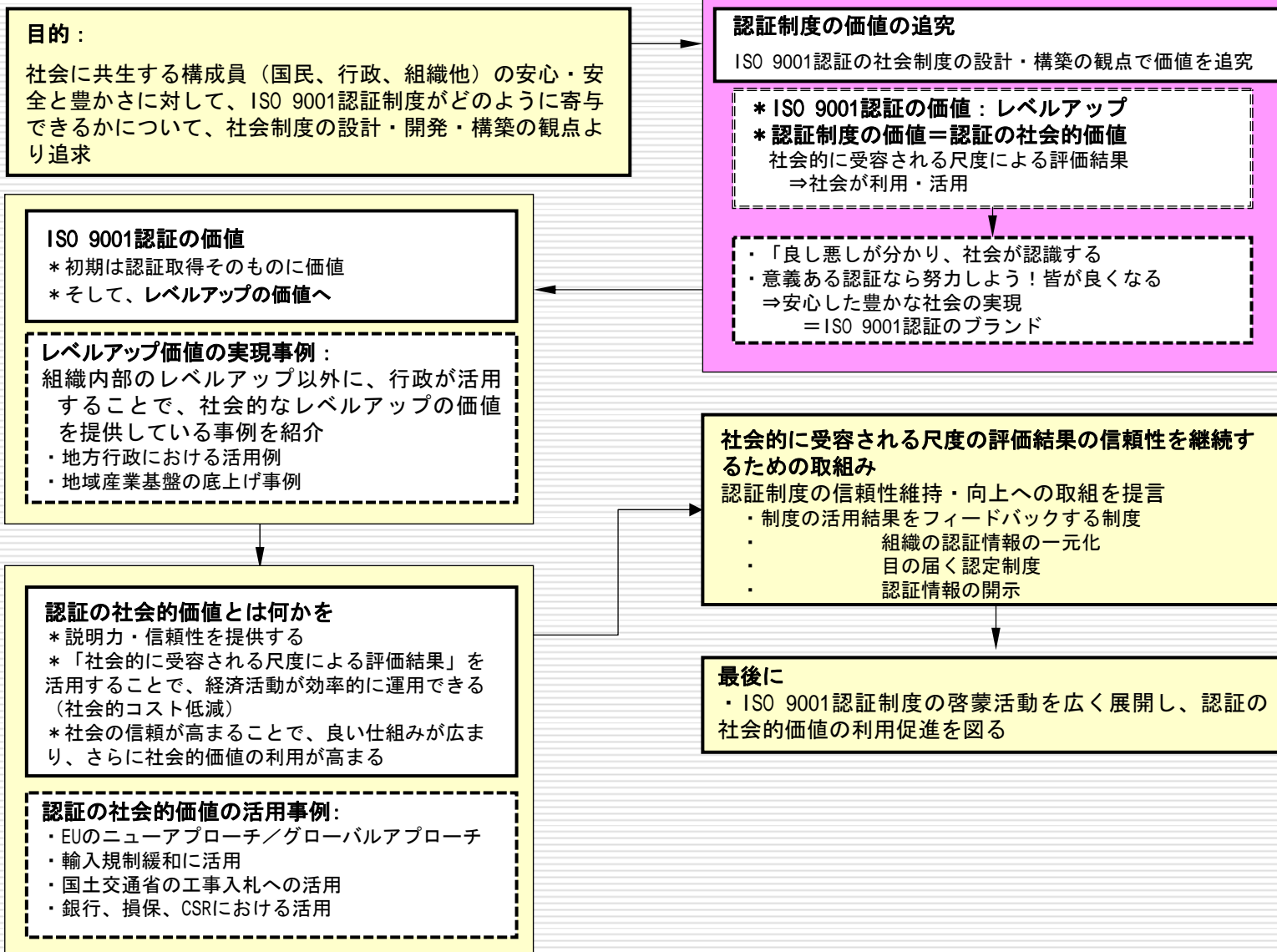
内容:

- 目的
- 認証制度の価値の追究
- ISO 9001認証の価値
- 認証の社会的価値
- 社会的に受容される尺度の評価結果への信頼性向上の取組み
- まとめ
- 最後に

目的

社会に共生する構成員(国民、行政、組織他)の安全・安心と豊かさに対して、QMS 認証がどのように寄与できるかについて、社会制度の設計・構築の観点より追究

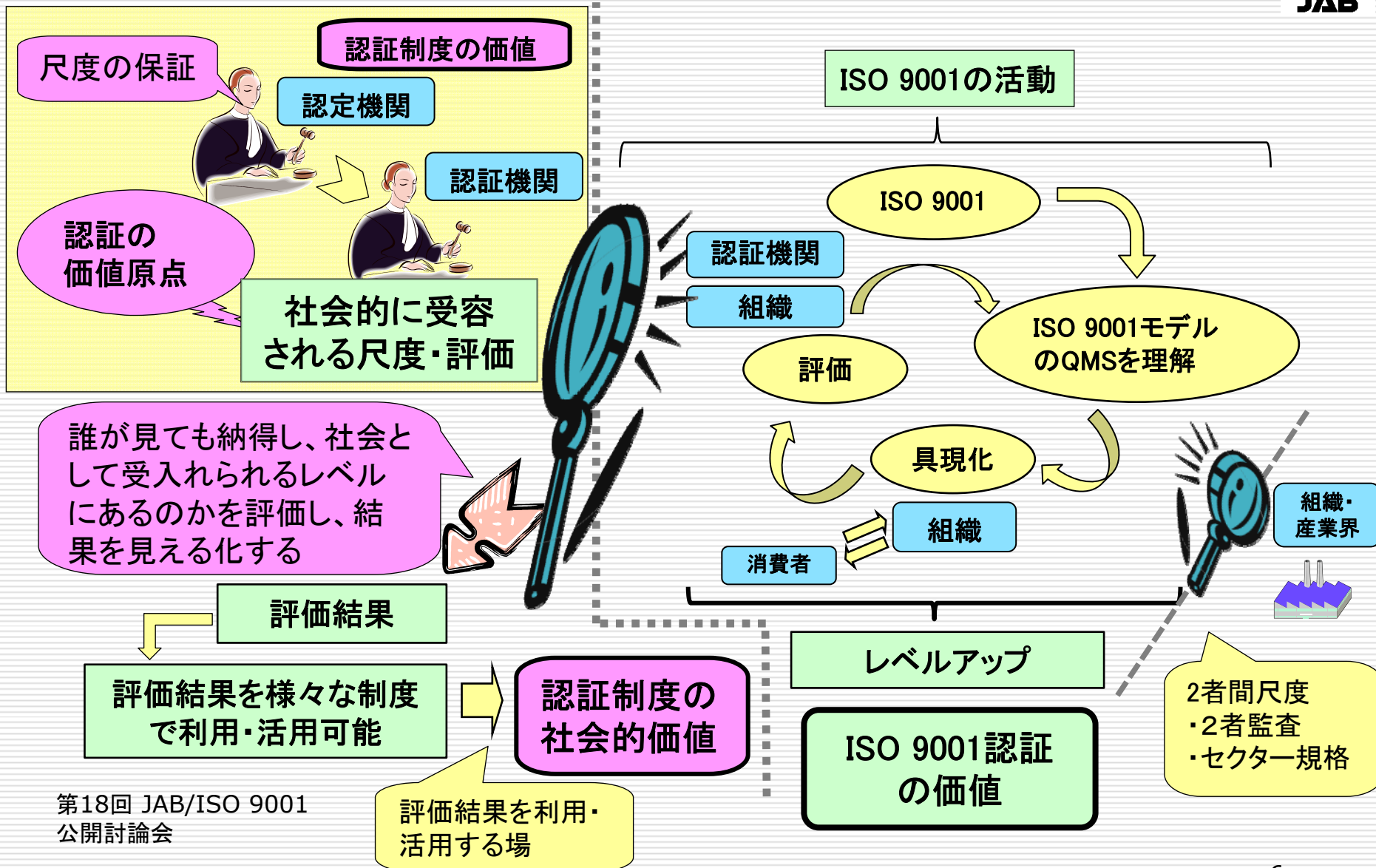
WG2： 社会の視点から ～安全・安心で豊かな社会の実現～



認証制度の価値の追究

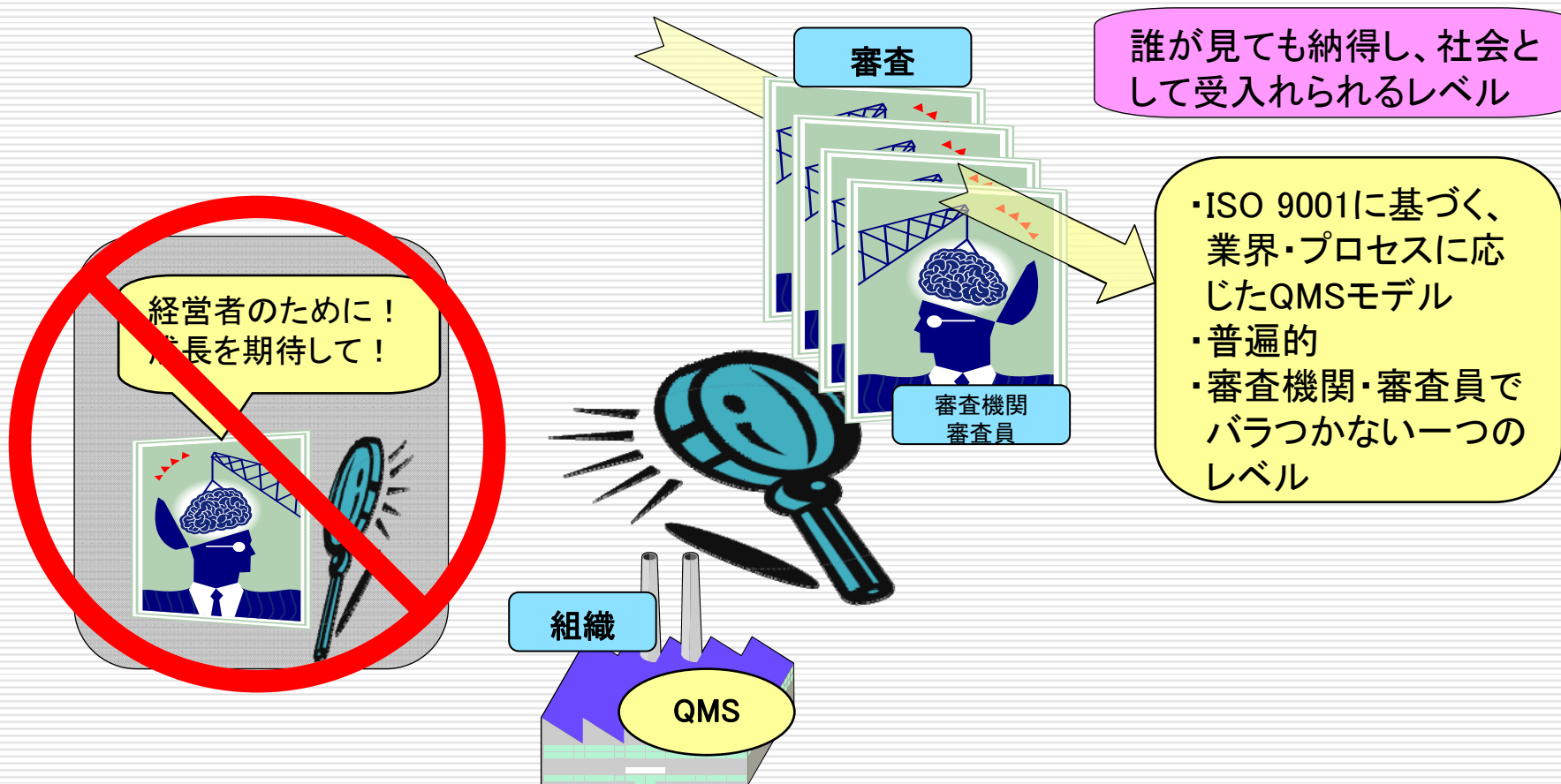
ISO 9001認証の社会制度の
設計・構築の観点で価値を追究

認証制度の価値の追究



認証制度の価値の追究

社会的に受容される尺度



認証制度の価値の追究

社会的に受容される尺度により評価された結果

社会化・外部化



良し悪しが見える化

社会が認識できる



良いものを選ぼう！

良し悪しがわかるなら制度を利用しよう

良し



悪し



意義ある認証なら
努力しよう！

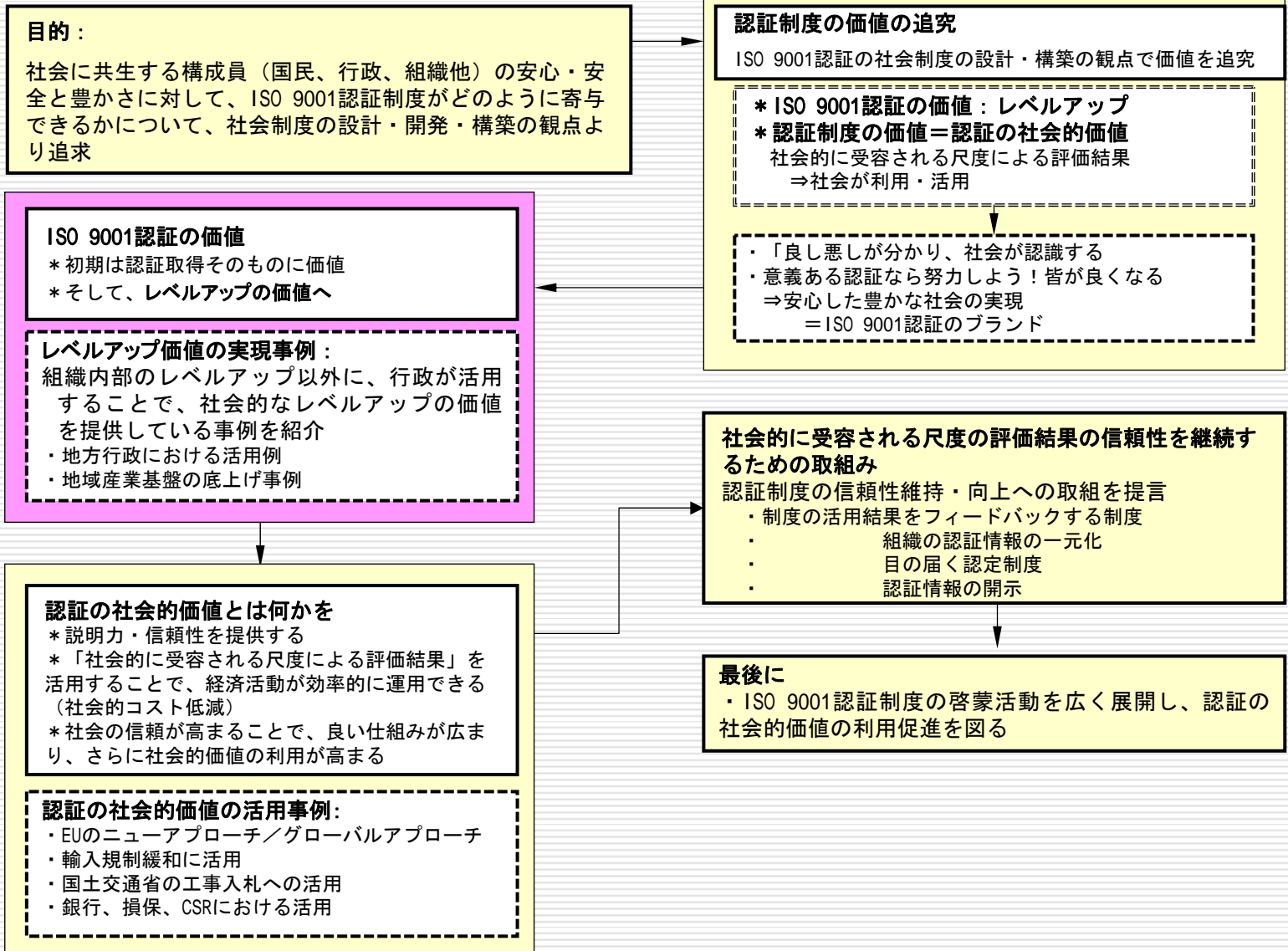
ところで、社会は認識できている...

ISO 9001認証
のブランド

皆が良くなる

安心した豊かな
社会の実現

WG2： 社会の視点から ～安全・安心で豊かな社会の実現～



ISO 9001 認証の価値

ISO 9001 認証の価値を振り返る

ISO 9001認証の価値

初期：認証取得そのものに価値があった ⇒社会的に認知される価値



希少価値

レベルアップの価値

ISO 9001認証の価値

- 良い慣行に基づく基準 (ISO 9001) が設定されたことで、レベルを上げることができる
- レベルを上げるための社会的コスト (政策的コスト) を認証制度が担うことができる
- “社会”のレベルが向上することで競争力が高まる

しかし、ISO 9001によるレベルアップの価値は、いずれは達成してしまう
⇒社会的に受容される尺度による認証の価値は、
社会的価値として継続して提供できる

ISO 9001 認証の価値

レベルアップ価値の実現事例

組織内部のレベルアップ以外に、行政が活用することで、社会的なレベルアップの価値を提供している事例を紹介

地域行政における活用事例

地域産業の活性化方策

- 群馬県太田市:ISO推進協議会制度
市内企業のISO普及のための支援活動を行い参加者相互の連携を図り、もって地域経済の発展に寄与する

名古屋市 :ISO支援事業
豊橋市 :中小企業等ISO規格等認証取得推進事業費補助金交付制度
群馬県千代田町 :中小企業ISO認証取得支援事業奨励金制度
富山県南砺市 :ISO認証取得支援事業補助金制度 等

- 製品・サービスのレベルアップ
- レベルアップのための社会的コスト(政策的コスト)を認証制度が担う
- 競争力が高まる

更に ↓

地域経済の活性化



行政の財政に貢献: 税収



良い暮らし

地域産業基盤の底上げ事例

重点業界の育成

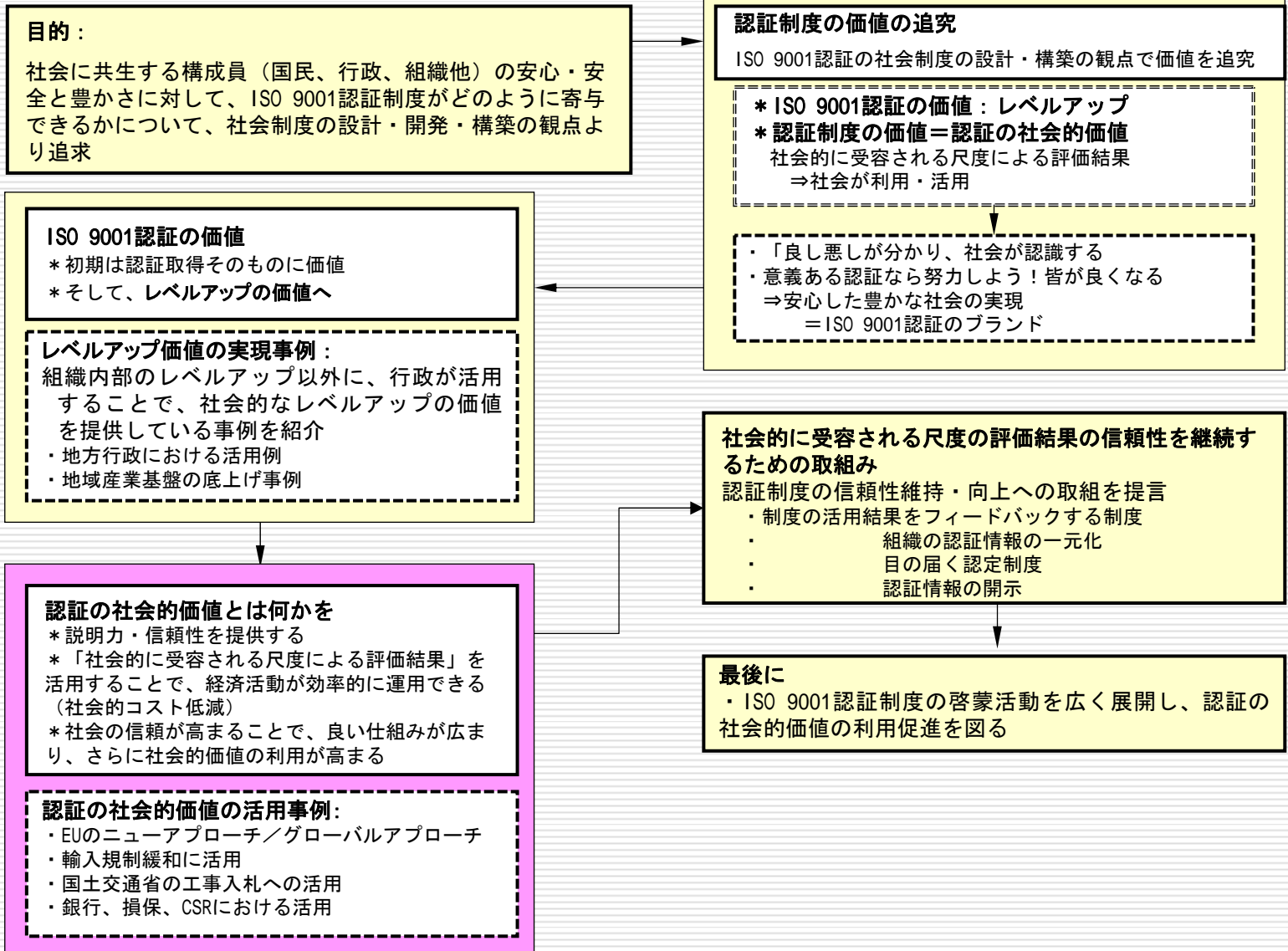
- 愛知県：航空機部品製造認証取得導入支援事業
中部地域：航空機部品生産の約5割を占める
更に航空機産業が発展、拡大するために多くの部品
製造業が新規参入し、裾野が拡大することを目指す。

- 製品・サービスのレベルアップ
- レベルアップのための社会的コスト(政策的コスト)を制度が担う
- 競争力が高まる

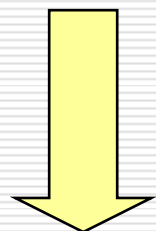
更に ↓

重点産業・産業基盤育成に活用

WG2： 社会の視点から ～安全・安心で豊かな社会の実現～



ISO 9001 認証の価値 : レベルアップ価値



レベルアップだけでなく
認証の社会的価値を使う
= 社会的に受容される尺度・評価・結果

認証の社会的価値

認証の社会的価値とは何かを考察

認証の社会的価値とは何か

社会的に受容される尺度で、客観的に評価した結果を利用・活用できる；認証の社会的価値

- 説明力・信頼性を提供する
 - ※複数の制度やツールを使わなくても、認証による説明力・信頼性を活用する
- 「社会的に受容される尺度による評価結果」を活用することで、経済活動が効率的に運用できる(社会的コスト低減)
 - ※分野毎に、ある基準を制定して活動を緩和/規制するところに、「社会的に受容される尺度による評価結果」を活用
- 社会の信頼が高まることで、良い仕組みが広まり、さらに社会的価値の利用が高まる
 - ⇒皆が良くなることで、自分たちを律していける社会が作れる

認証の社会的価値

認証の社会的価値の活用事例

EUのニューアプローチ／グローバルアプローチ

1985年：EU「技術的調和と基準に関するニューアプローチ」

EU市場統合時、物の自由な移動の障壁となったのが、各国が独自に設けていた製品の安全性や品質の基準を定めた規格
⇒製品の安全性と品質に関する規制を統一

ものの流れを阻害する一番大きなものは基準が違うこと。これを共通にしてもものの流れを促した

1989年：「認証とテストに関するグローバルアプローチ」

製品の適合性審査に関するEUの政策の原則を規定

⇒ISO 9001認証の義務化

品質に関する事はISO 9001とする慣行化

➤ ISO 9001認証の社会的価値の原形

⇒経済活動、規制が効率的に運用できる(社会的コスト低減)

ところが！

社会的に受容される尺度による評価結果が信用できないと、認証の社会的価値を活用できない⇒“規制強化”の懸念



認定制度の信頼性確保 ⇒ EU：一国一認定機関制度

輸入規制緩和に活用

- タイ:輸入醤油の供給者の品質保証
- オーストラリア:輸入衣料品の供給者の品質保証
- バングラデシュ:輸入規制対象品目である中古自動車部品の輸入規制緩和
- 台湾:輸入電気製品の製品証明登録(製品品質保証)

輸入時の各規制に対して、ISO 9001の認証により規制の一部を緩和



- 経済活動が効率的に運用できる(社会的コスト低減)
 - ※国/品目毎に、ある基準を制定して緩和/規制するところに、ISO 9001認証を活用

国土交通省の工事入札におけるISO 9001認証の活用

ISO 9001認証を取得した請負者のQMSに基づく自主的な品質管理業務を活用して、受発注者双方において品質管理業務の効率化を図る

監督業務の一部を請負者の検査記録の確認に置き換えることで、工事の品質確保と事業実施の一層の効率化を図る

- 入札のために、基準を制定して活動を緩和/規制するところに、ISO 9001認証を活用
- 経済活動、規制が効率的に運用できる(社会的コスト低減)

更に ↓

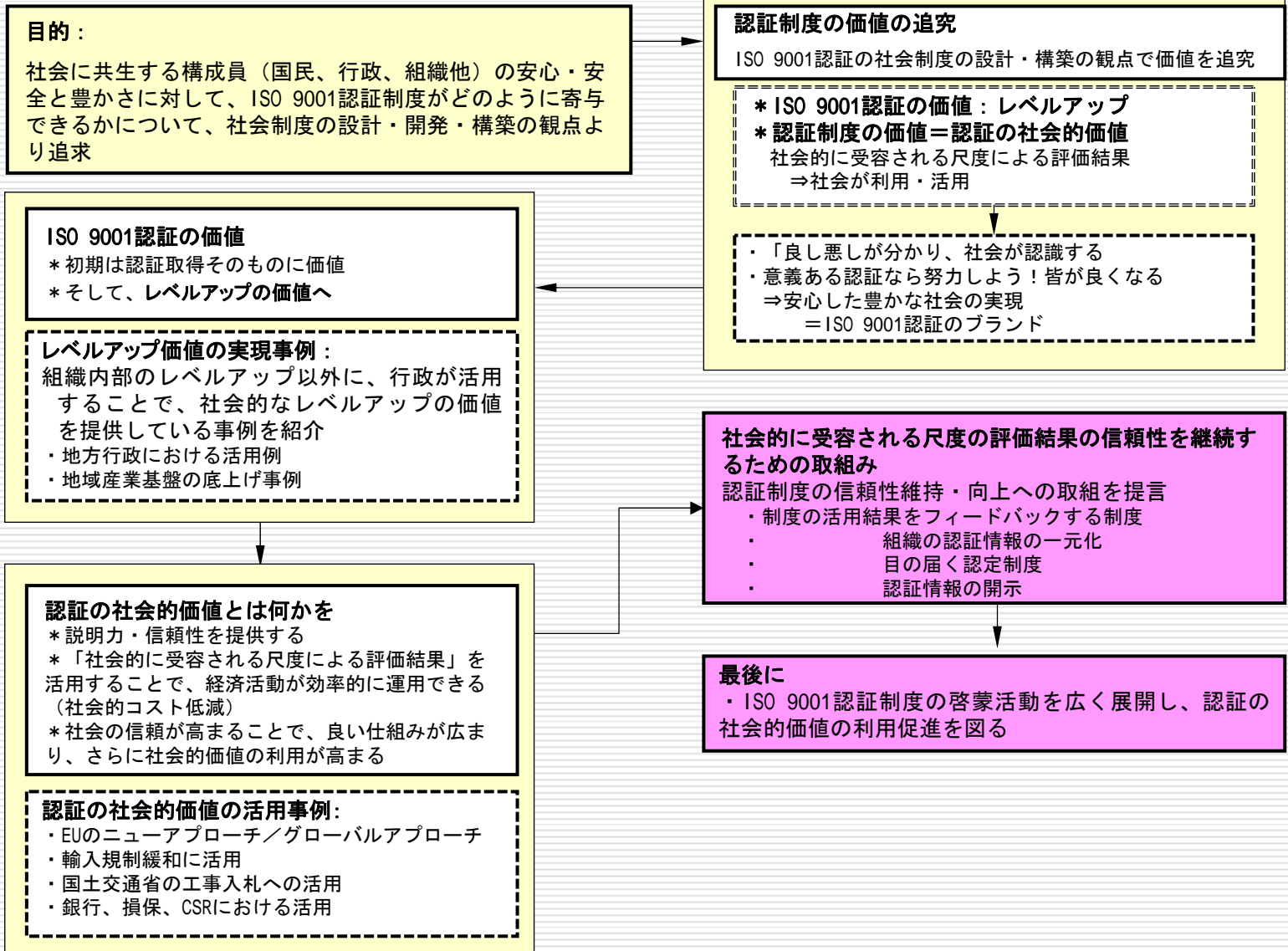
- ・ISO 9001を採用したことで、行政の透明性及び輸入障壁の観点での規制緩和
 - ・公共工事⇒社会的に認知された企業に発注されるべき
 - ⇒“社会的価値のある認証”
 - ⇒社会的に認知された企業
 - ⇒企業のインテグリティーを実証している
- 行政の社会的認知

認証による説明力・信頼性の活用

- M銀行の融資事例
技術力や経営力に関し、指定する制度認定を受けた企業に貸出金利を優遇
 - ・認定制度の一つとしてISO 9001認証活用
- A損保会社の保険料割引事例
品質、安全、食品安全管理等への取り組みに対して保険料を事業賠償保険料を割引
 - ・ISO 9001 認証を含むISO認証を活用
- CSRにおける信頼への価値
アニュアルレポートに認証されたQMS活動を報告することで、あるレベルの品質保証活動への信頼性担保

➤ 認証による説明力・信頼性を活用

WG2： 社会の視点から ～安全・安心で豊かな社会の実現～

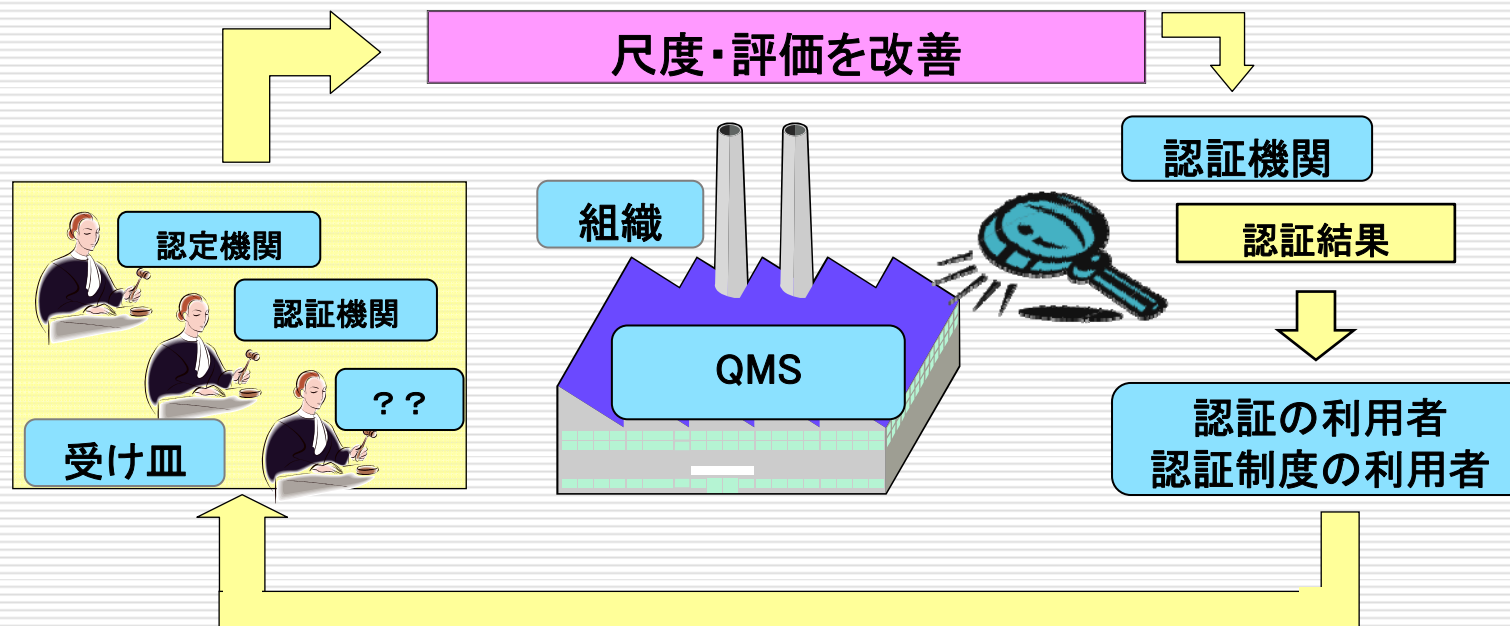


社会的に受容される尺度の評価結果 の信頼性を継続するための取組み

認証の社会的価値は、もっと利用や活用できる領域があるはず……

認証制度への信頼性維持・向上への取組みを提言

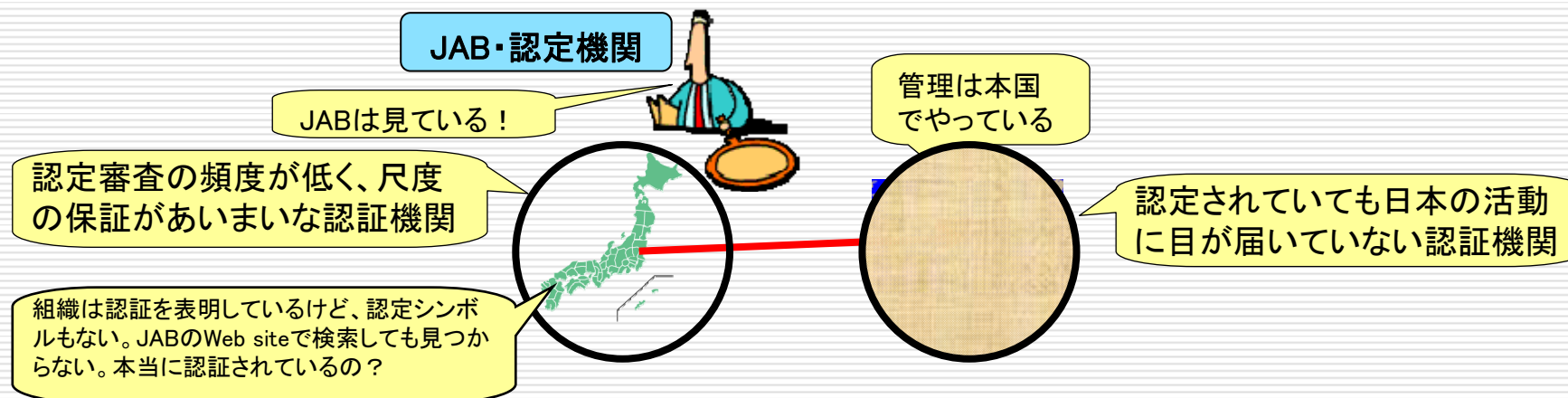
認証制度の信頼性維持・向上の取組み



提言

- レベルアップ事例及び認証の社会的価値事例で紹介したような、認証制度の利用者(行政、国交省、銀行、損保会社等)が、“認証”の“価値”を利用できなかったことをフィードバックする制度
- フィードバックにより、認証の社会的価値の質が向上し、さらに活用価値が増す

認証制度の信頼性維持・向上の取組み



認証機関の認証結果を保証できていると言えない
⇒「認証の社会的価値」が保証できない

提言

組織の認証情報の一元化
目の届く認定制度
認証情報の開示

~~認証の社会的価値~~

情報開示は

- ・認証活動を透明化
- ・客観性を担保

まとめ

認証制度の社会的価値

- 社会的に受容される尺度で、客観的に評価した結果を利用・活用できる

社会的価値の意義

- 良し悪しが見える化されることで、社会が良いものを目指す
- 良いものが選ばれることから、認証に意義があるとして努力する
- 社会全体が良くなり、安心した豊かな社会の実現

社会的価値を提供する認証の要素

- 社会的に受容される尺度にバラつきがない
- 信頼される審査
- 信頼される審査のための認定制度
- 認証の結果が活用できる・情報が開示される

認証制度の信頼性維持・向上の取組み

- 制度の活用結果をフィードバックする制度
- 組織の認証情報の一元化
- 目の届く認定制度
- 認証情報の開示

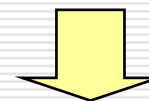
最後に

認証の認知、関心が高まる

- ⇒ 認証利用者が増加
- ⇒ 認証の価値向上
- ⇒ 認証の質への要求が高まる
- ⇒ 認証制度の充実
- ⇒ 認証制度の活用が促進

提言

社会への認知活動の推進



※ISO 9001認証制度の啓蒙活動を広く展開し、認証の社会的価値の利用促進を図る

※社会的価値の利用により、安心した豊かな社会の実現

事例:

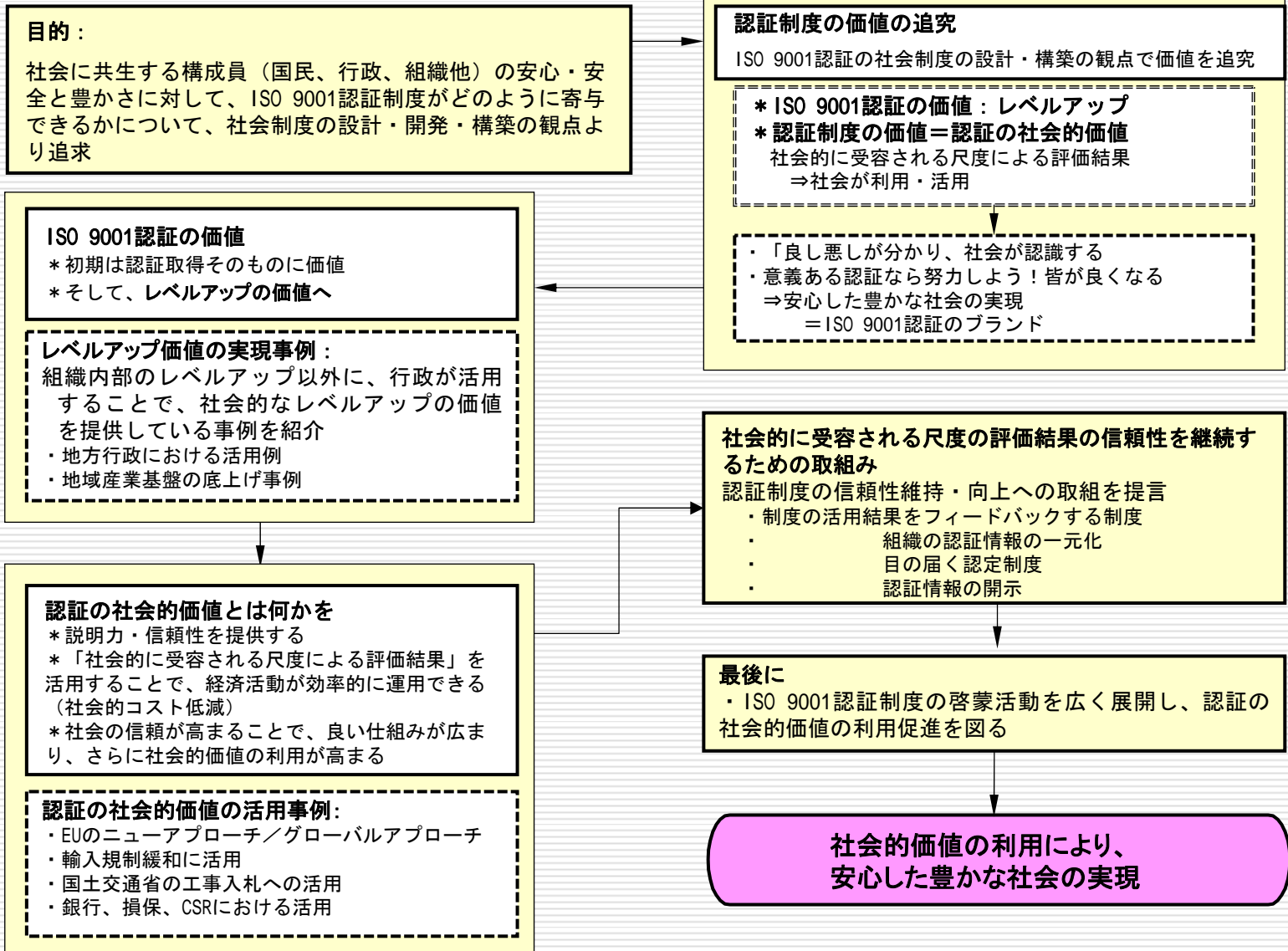
イギリスでは、2000年11月から適合性評価制度の認知度向上運動を実施
政府関係機関、民間組織、業界団体、社会等に対して適合性評価制度の重要性や適合性認証制度の活用を呼び掛けてきている



期待!

JAB: 広報活動

WG2： 社会の視点から ～安全・安心で豊かな社会の実現～



第18回JAB/ISO 9001公開討論会
2012年3月13日



WG2 社会の視点から

～安全・安心で豊かな社会の実現～

メンバー:(五十音順、敬称略)

五十嵐 誠 (組織)
勝俣 宏行 (認証機関)
住本 守 (学識経験者)
中川 梓 (JAB)
平林 良人 (学識経験者)
山本 正 (産業界)

ご清聴ありがとうございました。